

JAきたみらい

おひさま きらきら

2013



vol.130

11

はいっポーズ!

《上常呂地区・広郷》

山本麻唯さんと向日葵ちゃん・龍臥くん

(紹介は2ページです)

特集

- ふれあい農業祭
- 農協法公布記念にあたって



季節の薫り

紫花豆のお積み



外気も徐々に冷たくなって野山の紅葉も一段と濃さを増してきている。秋の深まりとともに季節の色を変えていく。紫花豆の主産地である温根湯地域のいたるところにオレンジ色のシートをかぶった高級菜豆のお積み、数多く並んでいる。

春に一粒一粒丁寧にまかれた種は、多くの手間をかけて育てられ、自然乾燥をしながら脱穀を待つ。これから脱穀機でさや、茎、大粒の豆と分けられていく。

主に北海道などの冷涼な地域で栽培される紫花豆は、関東や関西、九州などに届けられ、煮豆やお菓子、スープなど様々に姿を変え、全国の消費者から喜ばれている。

きたみらい区域の高級菜豆作付面積は298ha。その内、温根湯の紫花豆は72ha栽培され、全国一の産地となっています。写真のお積み風景は温根湯地区・川北の木村憲一さんの圃場で撮影。この後、JAの豆類調製施設に出荷された紫花豆は1粒ずつチェック、選別されています。(右下写真)

もくじ CONTENTS

○おひさまサラダクッキング……24

○「カボチャとニンジン」のチヂミ「トマト入りキムチスープ」……20

○JAからのお知らせ……20

・読む者の声

・思い出の写真

・元気な先輩

・大きくなったら

・プリーティーウーマン

・わが家のアイドル

・なかよし夫婦

・きたみらいのホープさん

○ほのぼの広場……16

○JAきたみらいホットライン東西南北……12

○表紙紹介「明るく元気に」……2

○季節の薫り……2

特集① ふれあい農業祭 ……4

特集② 農協法公布記念にあたって ……10

表紙紹介

明るく元気に

木々が紅葉で色づき始めた10月26日、山本さん宅に着くと、てん菜の収穫期で忙しい中、向日葵ちゃんと龍臥くん、家族の皆さんが迎えてくれました。保育所に通う向日葵ちゃんは、キティちゃんやブリキユアが大好き。毎日持っていくお弁当のおかずをときどきリクエストする向日葵ちゃんですが、一番のお気に入りはお母さんの麻唯さんが作る卵焼きです。

弟の龍臥くんは、好き嫌いがなく何でも喜んで食べます。誕生から10カ月で歩き始め、立ち上がって歩く姿を見せてくれました。普段から、「よく姉弟で遊んでいます」と話すお母さん。取材中も向日葵ちゃんが乗るおもちゃの車を龍臥くんが押し、二人仲良く遊んでいました。子どもたちのお風呂は、当初お父さんの晃久さんが担当していましたが、最近では向日葵ちゃんとお母さん、龍臥くんとお父さんが一緒に入ります。

仲良く遊ぶ二人の子どもたちにお父さんとお母さんは、「明るく元気に育てて欲しい」と優しく話してくれました。



【ご家族紹介】
前列左から～お母さんの麻唯さん(25)と龍臥くん(1)、お父さんの晃久さん(25)
後列左から～ひいおばあちゃんのと子さん(82)、おじいちゃんの博志さん(57)と向日葵ちゃん(4)、おばあちゃんゆかりさん(54)
山本さんは小麦・てん菜・玉葱・馬鈴薯など約23haを作付けしています。

合併

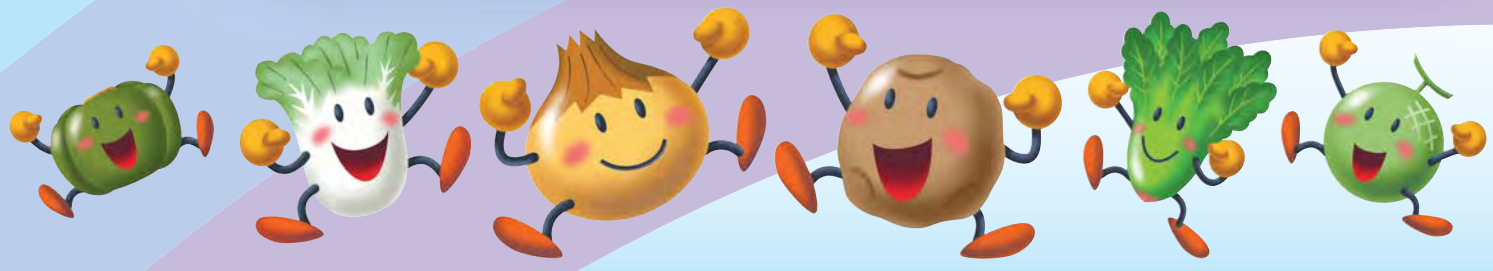
ふれあい農業祭

特集

JAきたみらい

周年

- ① 焼肉会場は家族連れで盛況
- ② 冠みらい直売所
- ③ 北見ファミリーランドの遊具は乗り放題に
- ④ 長蛇の列ができたきたみらい産野菜の無料配布
- ⑤ ステージ前は大勢の来場者
- ⑥ 芸能発表を行う北見地区青年部・フレッシュミス
- ⑦ 続々と会場におしよせる来場者
- ⑧ 遠い駐車場から歩いて向う来場者の姿も
- ⑨ シャトルバスには大勢の来場者が並び
- ⑩ カボチャの重量当てクイズに挑戦!
- ⑪ 開会挨拶を行う坂下専務
- ⑫ 歓声上がる餅まき
- ⑬ 会場に謎の仮面ライダーウィザードが現る
- ⑭ 大人気のキョウリユウシャーション



▲主催者挨拶を行う西川組会長

JAきたみらいは10月6日、合併10周年を記念し「ふれあい農業祭」を北見市若松のファミリーランドで開きました。同イベントは、地域住民と共に歩んできた10周年を記念して行われたもので、当日は秋晴れの下、組合員をはじめ約一万人の地域住民が来場。キョウリユウシャーションやアンパンなどのキャラクターションをはじめ、きたみらい各地域からの芸能発表、地場農畜産物、全国の「JAみらい」や姉妹JAの特産品なども販売、遊具なども無料乗り放題とし、長い列が出来ていました。地域の皆さまと楽しんだ農業祭の様子を写真を添えて紹介致します。



▲JA女性部は“おにぎり”を格安で販売



▲遊具を乗り放題にしたファミリーランドも大勢の来場者で賑わいました



▲置戸ブースでは地場産もち米の“どん”を無料配布



▲会場の山は紅葉がちらほら



▲JA青年部は焼肉の販売を担当



▲ジャイアントカボチャ重量当てクイズ当選者の穴田惣一さん（北見市・左）に商品を渡すJA青年部温根湯の東海林支部長



▲訓子府ブースでは地元のうどんを販売



▲B-1グルメでおなじみの“北見塩やきそば”



▲焼肉コーナーでは、立ち上る煙で真っ白に



▲JAフレミズでは子どもに人気のスーパーボール・ヨーヨーすくい



▲北見市職員の手作り“とん汁”（この大鍋3杯作りました）



▲後援団体を代表し祝辞を述べる塚本北見市副市長



▲上常呂地区から
角田優さんの民謡



▲芸能発表より 置戸地区から山神太鼓



▲訓子府地区のヒップホップダンス



▲相内地区のヒップホップダンス



▲留辺蘂地区からスコップ三味線



▲端野地区のキッズピクスダンス



▲閉会挨拶を行う
同祭実行委員長の大坪常務



▲お楽しみ抽選会では“当選”発表ごとに歓声、
西川組合長も上着を脱いで、気合い十分に
特賞（10万円旅行券）を引く!!



▲プロ並みの榎本敏夫さんのカラオケ



▲大人餅まきでは大人もジャンプ!

農協法公布記念日にあたって

制定より66年目の11月19日



北海道農業協同組合中央会
会長 飛田 稔 章

えるとともに、組合員の経営と生活の安定並びにより良い地域社会を築くことをめざして今日に至っています。

農協法公布記念日を契機に

農協法は、時代の変化に即して必要な改正がなされておりますが、農協事業・組織運営の基本法として位置づけられ、極めて重要な役割を果たしております。

農協法公布記念日を契機に、農協の社会的意義と役割について改めて組合員・役員が心に刻み、共通認識を深めることが重要であります。

国連は、協同組合の位置付け・役割を再認識し、協同組合活動の更なる充実強化をはかるべく、平成24年を国際協同組合年（IYC）と定め、世界各国で関連する取組みが行われております。

時代背景の中で施行

昭和22年11月19日に農業協同組合法（農協法）が制定され、今年で66年目を迎えました。

戦後の混乱期に食料確保の必要性とあわせて農民の自主的立場を確保する

ため、農村の民主化が最重要課題であった時代背景の中で、農協法が施行されるとともに農協が設立しました。

農協は「農民の農民による農民のための組織」で、相互扶助の精神が脈々と受け継がれ、農協を抛り所としてこれまで幾多の困難な環境変化を乗り越

協同組合組織の一員としてわたしたちは、農家組合員の営農と生活の安定向上をはかることを第一義として、地域社会全体の発展のため、その役割と機能をより一層発揮することが重要であります。

JAを取りまく環境

一方、世界的に食料・環境問題や社会・経済をめぐる多くの情勢変化が起きており、それに伴い、農業やJAを取りまく環境も影響を受けております。

直近では、TPP交渉問題や農業・農協等の規制改革の動きが大きな課題となっておりですが、TPPと規制改革は表裏一体の課題であり、改めて農業・JAの位置づけ並びに役割の重要性について、国民各層の理解を得る努力を行いながら、地域農業・地域社会の安定的発展につながる取組みを進める必要があります。

とりわけ、TPP交渉については、我々の声に理解を示さず半ば強引に交渉参加がなされるとともに、情報開示が極めて不十分な中、国民不在のもとで協議が進められておりますが、TPPが聖域なき関税撤廃のみならず、ルール改正や規制撤廃を同時に進める危

険な協定であるとの認識に立ち、国会決議や自民党決議の遵守を強く求めていくとともに、不可能である場合は、直ちに交渉から脱退する必要があります。

併せて、わたしたち一人ひとりが国民生活全体に大きく影響する交渉であることを各方面に広く訴え、理解を喚起する活動を粘り強く展開していくことが重要であります。

時代の変化と必要な見直し

JAグループ北海道は、昨年開催した第27回JA北海道大会において、組合員の総意のもと「持続可能な北海道農業の実現」と「次代を担う協同の実践」を決議しました。

時代の変化とともに農協の組織・事業の在り方についても、必要な見直しを行っていくことが求められますが、そのことは、「ひとりでは万人のために、万人はひとりのために」との協同組合の基本理念を前提に置いた取組みであることが重要であります。

関係者総力のもとで農業環境の改善に向けた努力を傾注するとともに、若手農業者への農協理念の継承、女性農業者の農協事業への参画等を併せて行

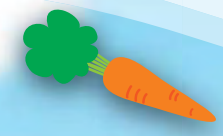
いながら、地域農業・JAを担う人材づくりをいかに進めていくかが喫緊の最重要課題であると考えます。

また、JAの対外的な役割並びに責任が高まっている昨今にあっては、必要な自己改革を進めながら、組合員をはじめ地域住民・消費者のニーズに 대응する事業展開とJA事業への結集による競争力強化、健全なJA経営態勢の確立、農業・JAの理解促進に向けた情報発信等を進めていくことが重要であります。

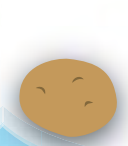
基盤を強固なものに

「農」は国のいしずえであり、食は命に直結するものであります。長年にわたり先代が築き上げた本道農業並びに農業協同組合の基盤をさらに強固なものにし、後世にしっかりと継承するよう共にならばろうではありませんか。

今後とも本道農業並びにJAがますます発展することを心より祈念し、農協法公布記念日にあたってのご挨拶といたします。



東 西



南 北



温根湯

高級菜豆の脱穀作業

～悪天候のなか 平年並みの収量確保～



▲大福の脱穀作業に励む大関さん家族

温根湯地区昭栄の大関裕之さんの圃場では10月24日、高級菜豆の脱穀が始まりました。当日脱穀されていたのは、「大福」で、大関さんは大福を約4畝の他、白花豆、玉葱、小麦を作付けしています。大関さんは「今年は悪天候のなか平年並みの収量、品質を確保できたと思います」と話してくれました。「大福」や「白花豆」などの高級菜豆の脱穀作業は、10月中旬より11月末まで行なわれ、この時期、同地区のあちこちの圃場では、脱穀機の作業音が周辺に響きわたります。植付けから収穫まで手作業が多い高級菜豆は作付け面積も年々減少傾向にあります。当地域における生産量は、全国有数の産地で「白花豆」「紫花豆」などは日本一の生産量を誇ります。高級菜豆はJA倉庫に運ばれた後、乾燥・調整後、全国各地に出荷されます。

相内

脱穀から 精米まで

～東相内小学校 31人が実習体験～



▲順番に脱穀作業を行う児童たち

北見市の東相内小学校では、5年生児童31人で、春植えたもち米「きたゆきもち」の脱穀から精米までの実習体験を行いました。実習前に、網走農業改良普及センター李家主査より「機械作業が多いので十分注意して、ケガの無いように作業しましょう」と説明を受けた後、児童たちはグループごとに分かれて脱穀作業、とうみかけ、籾すり、精米の順に作業を交代しながら実習しました。脱穀では、稲わらが機械にからむなど、児童たちは作業に苦戦しながらも、根気よく最後まで頑張つて作業していました。収量は植え付けの遅れもあり、20%程となりましたが、白く精米された「もち米」に触れた児童たちは、笑顔でいっぱいでした。今回精米されたもち米は、12月に学校給食で児童に振る舞われる予定となっています。



▲収穫が進むてん菜圃場

収量平年作 糖度に期待

上常呂

～25年産てん菜の 収穫作業を開始～

上常呂地区では10月下旬から始まる北海道糖業㈱の操業に合わせ、てん菜の収穫作業が始まりました。きたみらいてん菜振興会上常呂支部長の澤田正直さんは今年6畝のてん菜を作付け、10月18日より収穫を始めました。台風26号の影響でぬかるんだ圃場をビートハーベスターが慌しく往復し、圃場の側らにはてん菜が山積みされています。澤田さんは「今年の生育は、植付け遅れと夏の干ばつの影響はあったが収量は平年並み、糖分は最近の寒暖差の影響で上がり、高いのではないかと期待している」と話し、また「雨が多く、畑が乾かなくなっているので出荷日に合わせ、早めに収穫を終わらせたい」と天候を気にしながら急ピッチで作業を行っていました。

置戸

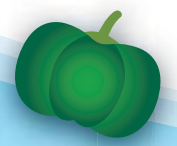
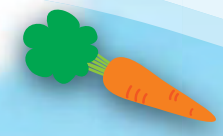
雪に負けず 元気に退牧

～釧北牧場の 入牧終了～

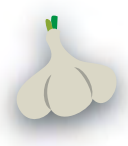


▲雪が残る放牧地からパドックへ誘導される乳牛

置戸地区の釧北牧場では10月24日、同地区農家21戸、約190頭の乳牛や和牛などの一斉退牧を行いました。今年は43畝の草地更新もされ、若牛たちは青々とした放牧地で、5月下旬の入牧から約5ヶ月間をのんびり過ごしました。10月16日には放牧地への通路が、積雪による倒木や膝下まで積もった雪でふさがれ、状況を確認できない日があり心配しましたが、全頭、事故なく退牧の日を迎えることができました。解けきれていない雪が残る広大な放牧地から、農家ごとにパドックへと集められ、耳標番号などを確認された牛たちは次々とトラックに乗り込み、飼い主の元へと元気に戻って行きました。放牧地でのびのびと健康に育った牛たちは、これから各農家で良質乳の増産が期待されます。



東 西



南 北



端野

共同利用で 効率的収穫

～コンバインで 大豆刈取り～



▲圃場の状態を見計らい、一気に収穫するコンバイン

端野町豆類刈取組合（松枝茂組合長）は、10月14日から大豆の刈取りを開始しました。同組合は共同で効率的な収穫機械の運営管理に努め、適正かつ円滑な利用を図ることを目的とし平成24年に設立。本年は17戸の受託面積で約65畝の大豆の収穫を予定しています。

黄金色に完熟し、収穫適期となった大豆を、天候状態と圃場の水分を見計らいながらタイミングを図りコンバインで一気に収穫していきます。松枝組合長は、「今年大豆は粒も大きく、例年以上の出来。あとは天候次第だが反収4俵を期待している」と話してくれました。

収穫作業は今後、天候状態を見ながら、11月初頃までを目途に行われます。

北見

固く締まり 濃厚な味に

～篠根果樹園 リンゴを収穫・販売～



▲手塩にかけたリンゴを見定める篠根さん

北見地区昭和の篠根克典さんの果樹園では、9月末よりリンゴの収穫が始まっています。

篠根さんは昭和26年よりリンゴの栽培を開始、「つがる」「ふじ」など早生から晩生まで様々な品種の樹を700本近く栽培しています。1日の寒暖差が大きい北見の気候はリンゴの生育に最適であり、固く締まって濃厚な味になることで、篠根さんは、今年が出来について「不安定な天候が続いたものの平年並みです」と話してくれました。

赤く実ったリンゴは、果樹園に併設された直売所での販売やりんご狩り、地方発送も行っており、収穫時期になると北見だけでなく道内各地からお客さんが訪れています。現在販売されているのは中生品種、中でも「紅つがる」は味が濃く甘みがあり人気です。11月初旬には「ふじ」など晩生品種の収穫が始まり、直売所で11月中旬まで販売される予定です。



▲白い湯気を上げながら堆肥を撒く澤山さん

堆肥パワーで 地力増進！

～長期的な目線で 地力の維持を～

留辺蘂

留辺蘂地区大富の澤山一之さんの圃場では10月23日、おがくずを中心としたパーク堆肥の散布作業が始まりました。空気がひんやりと張り詰め、冬の到来を感じさせるなか、圃場の側らに置かれた堆肥をショベルでマニアスプレッダーに積み込み、勢いよく圃場に散布していきます。発酵熱で温まった堆肥からは散布直後から、白い湯気があがっていました。

玉葱や小麦、白花豆などを作付けしている澤山さんは、「今年は、例年よりもやや少ない200トほどを、玉葱圃場を中心に散布する予定。堆肥は化学肥料ほどの速効性はないが、長期的な目で見ると地力の維持増進という意味で農業に欠かすことの出来ない行程だ」と話してくれました。この後、堆肥を散布された圃場はプラウで反転され、春の雪解けまで深い眠りに入ります。

訓子府

全国各地から 視察研修

～現場の課題を訴え 意見交換～



▲参加者と意見交換を行う稲辺代表(中央)と今野副代表(右)

全国公社畜産事業推進協議会が主催する現地研修会が10月17日、18日に行われ、農林水産省始め全国各地の農業公社職員など関係者約110人が訓子府町のTMRセンターである合同会社K'sフィールドサービスの取り組みを視察しました。

初日は北見市の会場で代表の稲辺文男さんが組織設立の経緯やその経済的効果などを報告し、翌日はバンカーサイロや飼料投入設備などについて、現地で参加者に説明を行いました。

その圧倒的なスケールに驚嘆の声を上げる参加者を前に「バンカーサイロの底部がサイレーシイ発酵の酸で傷んできており、修復に多額の費用がかかる。皆さんには現状がわかり見てほしい」と現場が抱える課題を訴え、構成員は参加者と熱心に意見交換を行っていました。

わが家のアイドル



北見地区・北陽

仲山 晴陽(はるひ)くん(2歳9ヶ月)
陽翔(ひなと)くん(10ヶ月)

毎日元気いっぱい!

「アンパンマン」と「しまじろう」が好きな晴陽くん。家にお邪魔すると、人見知りもせず玄関まで出迎えてくれました。

現在は週に3日保育所に通っていますが、家にいる時も「とにかく元気いっぱいです」と話すお母さん。取材中も家の中を動き回ったり、風船で遊んだり元気そのもの。最近ではピストルのおもちゃがお気に入り、「戦いごっこ」をして遊んでいます。ピストルを構え、カッコいいポーズも披露してくれました。

昨年には弟の陽翔くんが誕生。お座りしている陽翔くんに寄り添い一緒に遊んだり、泣いていると慰めてあげるなど、お兄ちゃんぶりを発揮しています。

そんな晴陽くんにお母さんは、「元気で健康に、良識のある子に育って欲しい」と話してくれました。

Pretty Woman ウーマン

◆出身、ご主人との出会いは?

出身は東京です。高校を卒業して、7年間長野で製造業の仕事に就いていました。そこで主人と出会って、主人が先に退職・就農したため2年間遠距離の後、2007年に結婚しました。

◆ご家族はどんな性格?どんな家庭?

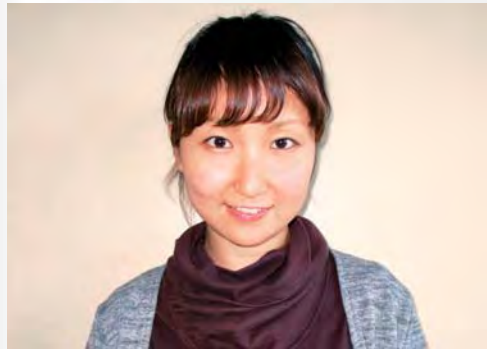
私はよく「天然」と言われてしまいますが、主人も穏やかで優しいです。子どもは5歳の女の子と、もうすぐ2歳の男の子がいます。常に娘がおしゃべりしているか息子が動いているので、とにかくにぎやかです!

◆趣味は?

手芸が好きです。今はもうすぐ誕生日を迎える息子のプレゼントに、娘と一緒に布で絵本を作っています。作業は少しずつですが、娘と一緒に楽しく完成させたいと思います。子どもたちがもう少し落ち着いたら、手袋や帽子などもチャレンジしたいです!

◆フレミズ活動を通じて感じることは?

私は今年支部長をやることになり、自分出来るのかとても不安でした。支部長という立場になって初めて、もっと気軽に参加してもらえよう方法を考えたり、会員さんの声をより反映させたいという気持ちになりました。また普段の生活の息抜きや交流の場としても、フレミズという組織があった方がいいなと感じました。これから冬期の活動が増えてきますが、多くの方に参加してもらえると嬉しいです。



娘と一緒に プレゼント作りに真最中

端野地区・川向

間村 絵美さん(31歳)

今回はフレミズ端野支部・支部長の間村さんに登場いただきました。



更なる向上を!

置戸地区・秋田

石塚 貴士さん(22歳)

きたみらいの ホープさん

●趣味は?

車・バイク・温泉・お酒などたくさん。

●理想の女性は?

明るい性格で笑顔のかわいい女性。

●休日の過ごし方は?

酪農なので基本的に休日はないですが、時間があれば車いじりやドライブしてます。

●好きな食べ物は?

焼き肉にラーメン。あと海鮮類も好きです。

●結婚はいつまでに?

出来れば20代のうちには。

●農業で学び実感した事は?

個体管理の難しさを実感しています。

●今後の抱負は?

良質乳を増加させるための知識や技術を向上させたいです。

12月号の「ホープさん」はJAきたみらい青年部?支部の?さんを予定しています。広報編集委員が、突然、取材にお伺いすると思いますが、何卒、ご協力願います。

貴士さんは酪農専業の義幸さん・淳子さん夫妻の長男で、就農して3年目になります。

Qきっかけは?いつ結婚しましたか?

二人とも北見出身で、北見青年団の活動を通じて知り合い、平成7年に結婚しました。

Q趣味・娯楽は?

輝美さん…… 音楽鑑賞です。クラシック以外であれば、様々なジャンルの音楽を聴きます。

かおるさん… 時間を見つけて読書をする事です。

Qこれからしたいことは?

農作業も一段落したので、家族で旅行に行きたいです。これから寒くなるので、沖縄など暖かい場所が良いですね。ちなみに、子供たちはディズニーランドに行きたがっています。

Qお互いの感謝の言葉

輝美さん…… 毎日家事をこなしてくれることに感謝しています!

(妻が風邪を引いた時、改めて家事の大変さを実感しました…)

かおるさん… 毎日元気に働いてくれることに感謝しています!

これからもお互い健康に過ごしていきたいですね。



ながよし夫婦

互いに健康で

北見地区・豊地

小笠原

てるみ 輝美さん(47歳)

かおるさん(42歳)

まちがいさがし

Bのイラストには、Aのイラストと違う部分が5カ所あります。間違っている部分を右下のイラストの中の数字でお答え下さい。

A



B



10月号クイズの当選者

10月号のまちがいさがしの答えは「2, 4, 5, 11, 12」でした。正解者58名の中から抽選の結果、当選者は次の方々です。尚、抽選はJAきたみらいの高橋常務にお願いしました。

()内は地区名

- ・山梨 勝也さん(温根湯)・今部 幸江さん(留辺蘂)
- ・大橋 敏也さん(相内)・田村 悠貴さん(訓子府)
- ・梶田 駿介さん(訓子府)・及川 一子さん(訓子府)
- ・西原寿美子さん(上常呂)・小野 可蓮さん(北見)
- ・安斉華乃音さん(北見)・富樫 怜央さん(端野)

以上の方々には、JA伊達みらいの缶ジュース「林檎(りんご)の想い」190グラム12本セットをプレゼントします。

応募方法

答えが解った人は、別紙の応募用紙に答え(番号)と広報誌へのご意見・ご感想を記入してFAXでご応募下さい。抽選で10名の方に、JAきたみらいのおひさまカレー(甘口2箱・辛口2箱)をプレゼントします。

10 月16日の雪には驚きました。昔、10月26日に豆の「にお」がすつぱり埋まる位の雪が降ったことがあるそうです。

(温根湯地区・岩崎 椎奈さん)

台風の雨風を心配していたところの突然の積雪。雪が降った地域の方は驚かれたと思います。過去に、それ以上の大雪があったことにも驚きます。

ま ちがいさがし、4才の孫が楽しみに探しています。ここでしょ・・・と楽しんでいます!!

(留辺蘂地区・橋 芽唯さん)

楽しんで頂けてなりよりです!まちがいさがしを始め、家族の皆様に楽しんでいただけたような広報誌作りに努めていきますのでこれからもご愛読よろしくおねがいします。

毎 日楽しく読ませてもらってます。今年もあと、2ヶ月ちょっと・・・1年があつという間に過ぎていきます。

(上常呂地区・草場 佳子さん)

いつもご愛読ありがとうございます。毎年、目の前の事を片付けるうちに時が過ぎてしまいますね。残り数ヶ月、体調管理を心がけ頑張りましょう!

夏 は雨不足。秋は雨の多さに本当に困った一年でした。

来年は、良い年になりますように。(北見地区・桑原 幸江さん)

自然相手とはいえ、今年の天気には悩まればなしな一年でしたね・・・お天道様、来年は頼みますヨ!

元気な先輩

相内地区・柏木

萩原 和幸さん
(78歳)



同級生と旅行

和幸さんは昭和9年、現在住んでいる北見市柏木で生まれ中学校卒業後、家業である農業を手伝い始めました。

当時は、5畝程で、小麦、てん菜、馬鈴薯、豆類を作付け、就農当時は家族が多く食料不足で大変苦労し、冬には東薪を作り、町に外商するなど家計を助けてました。

昭和32年には結婚し、1男2女の子宝に恵まれました。現在は長男に経営を移譲、孫も農業後継者として頑張っており、現在、畑作3品で24畝まで規模拡大しました。

和幸さんは「昭和46年に冷害で収入が激減したとき、冬期間、夫婦で国鉄のアルバイトをしながら生活するなど、辛いこともあったよ」としみじみ話してくれました。

経営移譲した後、6年ほど建設会社に勤めましたが、現在は家庭菜園で汗を流すことと、同級生と旅行に行くのが楽しみだそうで、「10月にも同級生14名で知床に温泉に行ったばかり」と楽しそうに話してくれました。

最後に、「妻の手料理が元気の秘訣だよ」と奥さんの前でニコニコしながら話してくれました。

ほのぼのの広場

大きくなったら



訓子府地区・西富

あいらり
林 愛織ちゃん(6歳)
としや
舜也くん(3歳)

ケーキ屋さんになりたい

いちごケーキとチョコレートケーキが大好き。料理が好きなので、ケーキ屋さんになりたいです。(愛織ちゃん)

トラクターに乗りたい

パパと一緒にトラクターやダンプを運転する人になりたい。(舜也くん)

林友和さん、麻奈美さん夫婦のお子さんです。お料理好きの愛織ちゃんはお母さんのお手伝いをしてくれます。舜也くんは仮面ライダーやウルトラマンが大好きで、かっこいいポーズを決めてくれました。

思い出の写真

この写真は、今から30年程前に訓子府で行われた管内総合家畜共進会にて、当時養豚をしていた芳雄さんの審査の様子です。一緒に写っているのは「ランドレース」という品種の雌の豚で、未経産部門で優秀賞が受賞されました。

水田3畝程の作付けであったため、所得向上のために始められた養豚。芳雄さんが経営を受け継ぎ昭和50年には豚舎を整備。稲わらを豚の敷きわらにし、堆肥を水田に投入することで良い米も出来たとのこと。当時は約100頭を飼育していました。

芳雄さんは「良い豚を育てるために、品種改良などに常に気を配っていた。豚を連れて全道を走り回っていたけど、優秀賞の受賞は忘れることのない思い出だよ」と当時の思いを語ってくれました。

平成3年から8年まで「端野町養豚振興会」の会長を3期に渡り務められていた芳雄さんは、平成16年の台風で豚舎が破損したことをきっかけに養豚から手を引くことに。息子さんに経営移譲した後、今年3月までは端野の三区自治連合会の会長を務められ、多忙な日々を送っていましたが、「ようやく肩の荷が下りた。剣道や書道など、やりたいことがいっぱいあるよ」と芳雄さんは笑顔で話してくれました。



▲訓子府の共進会場で、手塩にかけた自慢の豚と審査に挑む芳雄さん

共進会で部門優秀賞

端野地区・三区

驚見 芳雄さん(71歳)



INFORMATION



JAきたみらい端野地区事務所と端野町観光物産協会は10月20日、当JA端野事務所前の特設会場にて「端野町農産物フェア」を行い、多くの来場者で賑わいました。快晴の空の下、花火を合図に端野豊稜太鼓にて開幕した物産フェア。もち米や青果物などの販売が行われ、端野農業青年大学による1袋百円の玉葱・馬鈴薯の袋詰め放題はあっという間に売り切れました。

女性部・フレミズ端野支部では地場産野菜たっぷりの豚汁を無料配布し、長蛇の列に。青年部では鳥串の販売や子供おもちゃのゲームくじ、

▲地場産野菜たっぷりの豚汁無料配布する女性部・フレミズのブース

多くの来場者の中、当JAの職員はTPP反対を訴えるティッシュを配布し、受け取った女性の方からは「私もTPPに反対です。がんばって下さい」と話してくれました。

また、同町の姉妹都市である宮城県丸森町も参加し、同町の特産品を販売。フェアのラストを飾る、豪華賞品が当たるお楽しみ抽選会では、会場が多くの溜息や喜びの声で興奮にいつま



▲TPP反対を呼びかけティッシュを配るJA職員

地場農産物に長蛇の列

端野町物産フェア開催

2013 北海道ホルスタインナショナルショウ

ジュニアカップ育成ジュニアクラス

主席に蝦名真帆さん出品牛!!

JAきたみらいより23頭の乳牛が出品

「2013北海道ホルスタインナショナルショウ」が9月28日と29日の2日間、安平町の北海道ホルスタイン共進会場で開催されました。



▲ジュニアカップ育成ジュニアクラスで主席牛に輝いた「ウオーカー ラバンガード レクサス」を囲んで

道内からえりすぐりの乳牛456頭が出品し、中標津町酪農家久保剛さんがホルスタインの主任審査員を務め月齢別に分けて乳牛の体型・乳房を含めた資質評価により審査が行われました。

JAきたみらいからは、管内共進会で選ばれた23頭が出品し、置戸地区の蝦名真帆さん出品牛の(所有者・置戸地区 小建一彦さん)「ウオーカーラバンガードレクサス」が育成牛としてのバランス、資質が高く評価され、ジュニアカップ育成ジュニアクラス(生後7カ月以上9カ月未満)で主席牛を獲得しました。

なお、きたみらい出品牛の成績は別表の通りです。

また、本共進会の付帯行事として、ジュニア酪農教室及びリードマンコンテスト・写真コンテストが開催され、きたみらいジュニアホルスタインクラブより酪農教室に4名、リードマンコンテストに北見地区の上野秀俊くん(高3)と上常呂地区の神田修輔くん(中3) 北見地区の山内瑞穂さん(小6)が参加し、高校3年生の部において上野秀俊くん(高3)がセカンドベスト、リードマンに輝きました。

更に、写真コンテストでは上常呂地区の神田修輔くん(中3)が第2部銀賞、神田渉吾くん(中1)が第2部銀

賞1席、北見地区の山内瑞穂さん(小6)が2部銀賞2席にそれぞれ入賞されました。



▲11部の審査様子

きたみらい出品牛入賞内訳

<別表>

部	クラス(範囲)	入賞序列	名 号	地区名	出品者
育J	ジュニアカップ(7~9カ月未満)	1等1席	ウオーカーラバンガードレクサス	置戸	蝦名 真帆(高3)
育S	ジュニアカップ(9~12カ月未満)	3等2席	DH ローズサンド	上常呂	神田 修輔(中3)
		2等5席	DH スパークリング エマ	北見	山内 瑞穂(小6)
		1等3席	ロックウービー アトラクティブ ET	北見	上野 秀俊(高3)
1	未経産カーフクラス(生後10カ月以上12カ月未満)	2等1席	クレイジャスクール キングジョー	置戸	(有) 小山 牧場
		3等8席	ロイヤルクイーン アウトド セブリア	訓子府	稲 辺 祐 也
2	未経産ジュニアクラス(生後12カ月以上14カ月未満)	2等10席	DH マンモス チャンス	北見	山 内 誠
		1等2席	ヨシノファーム オール ORE	北見	吉 野 英 之
3	未経産ジュニアミドルクラス(生後14カ月以上16カ月未満)	3等12席	ロックウマンモス スヌープ	北見	(有) 上野 牧場
		3等4席	クレイジャスクール パドジョンウイスキー	置戸	(有) 小山 牧場
4	未経産ミドルクラス(生後16カ月以上18カ月未満)	2等2席	DH ローティアン ダンディー	北見	山 内 誠
		3等4席	TMF アドベント プレマビスタ ET	訓子府	森 岡 えり子
8	ジュニア2歳クラス(生後30カ月未満)	3等1席	ハイリークイーン アイオンスモーカー	訓子府	高 倉 英 介
		1等4席	KDC フィービシヤト	北見	吉 野 英 之
11	ジュニア3歳クラス(生後36カ月以上42カ月未満)	1等5席	パーチビル デニソン サンドラ	訓子府	渡 辺 重 明
		3等7席	ホナミMBB ディストライ デビュー	訓子府	龍 田 茂 久
		3等5席	エコドリーム アリスン シーク ET	上常呂	溝 手 義 彰
12	シニア3歳クラス(生後42カ月以上48カ月未満)	3等4席	ヒンバル タレント サンパレス	相 内	(有) 小野 牧場
		1等7席	クレイジャスクール ルーシーリユー	置戸	(有) 小山 牧場
13	4歳クラス(4歳以上5歳未満)	3等3席	アポロ ゴールドウイン ジャネット	相 内	(有) 小野 牧場
		3等11席	ポスアグリ アドベント ドーン RED ET	置戸	ローヤルチャンピオンプロジェクト
14	5歳クラス(5歳以上6歳未満)	3等8席	デイパー チェアマン ゴールド コピア	訓子府	平 田 明 奈
		2等2席	ヨシノファーム エコー セイシル ET	北見	吉 野 英 之

手作りバターを体験

食べる・たいせつフェスティバル開催



▲牛乳からバターができる説明を聞く参加者たち

コープさっぽろが主催する「食べる・大切フェスティバル2013 in 北見」が11月2日、サンドーム北見とサンライフ北見で開かれ、当JAも参加しました。

オホーツクの特産品が集まるサンドーム北見会場では玉葱と牛すじカレーなどの加工品や、揚げたてのチョコクッキーを販売。一方、体験コーナーの集まるサンライフ北見会場では「牛乳から手作りバター体験」として、1回20名限定で午前の部・午後の部



▲固まったバターの裏ごしをする様子

の2回を実施しました。手作りバター体験は、牛乳と少しだけ生クリームを入れたシェイカーを振るといった簡単な作業ですが、「思ったより大変」「もう疲れた」という声があちこちから聞こえました。出来上がったバターはクラッカーにのせて試食、「おいしいから持ち帰る」と言ってくれる方もいました。午後の部は受付を開始するとあっという間に20名が集まり、大盛況となりました。

INFORMATION

第9回 理事会報告

10月29日、午前9時より第9回定例理事会が開催され、報告事項16件、議決事項4件が協議され、原案通り承認されました。

【報告事項】

- ①監事監査（定期：上半期）報告について
- ②組合員状況報告について
- ③財務状況報告について
- ④JA共済コンプライアンス点検の結果報告について
- ⑤JAきたみらい合併10周年記念式典について
- ⑥法定伝染病発生（温根湯地区）について
- ⑦10月16日降雪による被害について
- ⑧合併10周年記念「ふれあい農業祭」開催結果について
- ⑨作況調査（10月15日）報告について
- ⑩生乳生産状況及び個体取引価格について
- ⑪2013北海道ホルスタインナショナルショウの結果について
- ⑫平成25年産共計玉ねぎ・馬鈴しょの選果販売状況について
- ⑬平成25年産共計玉ねぎ・馬鈴しょの概算金について
- ⑭平成25年産共計豆類の仮渡金について
- ⑮平成25年産もち米生産見込みについて
- ⑯資材センター事務所新築工事に係る入札結果について

【議決事項】

- ①出資持分譲渡について
- ②諸規程の改正について
- ③H25年異常気象に係る対策実施について
- ④平成26年産共計玉ねぎ取扱要領（早出し取扱細則）について

就業時間変更のお知らせ 11/1～

11月1日より、センター、地区事務所、資材店、給油所及び整備工場の就業時間が次の通り変更されますので、お知らせ致します。（平成25年11月～平成26年3月）

センター・地区事務所					
	営業時間				備考
	平日	土曜日	日曜日	祝祭日	
事務所	9:00～17:00	9:00～12:00	休み	休み	第2・4土曜日休業
金融窓口 (ATM)	9:00～15:00	休み	休み	休み	
共済窓口業務	9:00～18:00	9:00～14:00	休み	休み	
9:00～15:00	休み	休み	休み		
資材店舗					
北見	9:00～17:00	9:00～12:00	休み	休み	修理工場含む 第2・4土曜日休業
温根湯	9:00～17:00	休み	休み	休み	
留辺蘂	9:00～17:00	休み	休み	休み	
置戸	9:00～17:00	9:00～12:00	休み	休み	第2・4土曜日休業
訓子府	9:00～17:00	9:00～12:00	休み	休み	
相内	9:00～17:00	休み	休み	休み	
上常呂	9:00～17:00	休み	休み	休み	
端野	9:00～17:00	9:00～12:00	休み	休み	農機修理工場含む 第2・4土曜日休業
給油所					
北見中の島セルフ	8:00～19:00	8:00～19:00	8:00～18:00	8:00～18:00	
温根湯	8:30～18:00	8:30～18:00	8:30～17:00	8:30～17:00	
留辺蘂	8:30～18:00	8:30～18:00	8:30～17:00	8:30～17:00	
置戸	8:30～18:00	8:30～18:00	8:30～17:00	8:30～17:00	
訓子府	8:30～18:00	8:30～18:00	休み	8:30～17:00	
相内	8:30～19:00	8:30～19:00	8:30～17:00	8:30～17:00	
上常呂	8:30～18:00	8:30～18:00	休み	8:30～17:00	
端野	8:30～18:00	8:30～18:00	8:30～17:00	8:30～17:00	第2日曜日休業
整備工場					
訓子府	9:00～17:00	9:00～12:00	休み	休み	



▲発行された10周年記念誌と田園風景や農作業などをまとめたDVD

記念誌は第5章立てで、第1章は、当JAが誕生するまでの6年6ヶ月の経緯を紹介、第2章は、10年間のJAが取り組んだ事業や作況、農畜産物の販売情勢など主だった事業を写真で取り上げました。

第3章は、JA設立と同時に組織を立ち上げ、精力的に活動や事業展開を進めてきたJA青年部などの外郭3組織と14生産組織を紹介。第4章は、広域合併に大同団結した旧8JAのプロフィルにそれぞれ焦点をあてました。

第5章は、年度ごとの貸借対照表や損益計算書、部門別事業の推移などを掲載しています。

記念誌に併せ、当JA管内の田園風景や季節ごとの農作業もビデオ撮影し、「きたみらい田園四季」「DVDで振り返る10年のあゆみ」の2編構成のDVDにまとめました。

記念誌編集にあたった菅原振興部の堀仁志職員は「10年の歴史をひも解くと『全ての組合員のため』にと、事業展開に邁進してきたことを改めて痛感した」と振り返り、「原稿作成や写真選定を進める中で、広報誌『おひさまサラダ』が大きな情報源となり、広報活動の重要性を再認識した」と話しました。

なお、DVD付き記念誌は2500部作成、全組合員と役員、関係者などに贈られます。

当JAは2003年2月1日に、1市4町の8JAが合併し、本年の2月に節目の10年を迎え、さまざまな記念事業に取り組んでまいりましたが、今回の記念誌発行もその一環として行われたものです。

10周年の歩みを後世に

DVD付き記念誌制作

開を進めてきたJA青年部などの外郭3組織と14生産組織を紹介。第4章は、広域合併に大同団結した旧8JAのプロフィルにそれぞれ焦点をあてました。

第5章は、年度ごとの貸借対照表や損益計算書、部門別事業の推移などを掲載しています。

記念誌に併せ、当JA管内の田園風景や季節ごとの農作業もビデオ撮影し、「きたみらい田園四季」「DVDで振り返る10年のあゆみ」の2編構成のDVDにまとめました。

記念誌編集にあたった菅原振興部の堀仁志職員は「10年の歴史をひも解くと『全ての組合員のため』にと、事業展開に邁進してきたことを改めて痛感した」と振り返り、「原稿作成や写真選定を進める中で、広報誌『おひさまサラダ』が大きな情報源となり、広報活動の重要性を再認識した」と話しました。

なお、DVD付き記念誌は2500部作成、全組合員と役員、関係者などに贈られます。

当JAは2003年2月1日に、1市4町の8JAが合併し、本年の2月に節目の10年を迎え、さまざまな記念事業に取り組んでまいりましたが、今回の記念誌発行もその一環として行われたものです。



▲きたみらい加工食品の販売を行う青年部員

オホーツク農業祭

～JAきたみらい青年部も出店～

オホーツク農協青年部協議会は、農業・オホーツク産農畜産物や加工品の販売、販売を通じた青年部と消費者の交流や、PRを目的とした、第4回目となる「オホーツク農業祭2013」を10月26日、サントーム北見で開催しました。

当日は、管内のJA青年部が中心となりブースを出店。オホーツク産の農畜産物、加工品やカレーライス、豚汁などが販売されました。

農産物販売だけでなく、農業がわかるスタンプリーやバター作り体験も、ハロウィンかぼちゃ作り体験も

行われました。

JAきたみらい青年部は部員7名が参加し、JAきたみらい加工食品を販売しました。

今回販売した商品の中では玉ねぎ醤油と牛すじカレー、白花美人（白花の甘納豆）は用意した分全て完売となり大変好評でした。

農業祭終盤では大抽選会が行われ、当選者が発表される度に会場から大きな歓声が上がっていました。

「長いもまつり&収穫感謝祭」開催のお知らせ

毎年、多くの消費者の方に好評であります「長いもまつり&収穫感謝祭」を今年度も下記の日程にて開催いたします。

旬の長いもを、お買い得価格でご提供する他、今回はマグロの解体実演及び特価販売も行います。

皆様のご来場をお待ちしています。

○とき 11月17日（日）午前9：30～12：00

○ところ マルキタ地方卸売市場（北見市東相内町39-1）
※今年度より会場が変更になりました。
※市場業務により敷地内への入場は午前7：30からとなりますので、ご了承ください。

○内容 きたみらい産長いもをはじめ、玉葱、馬鈴薯、豆類、もち米のほか、きたみらいの加工食品（コロケ、ドレッシング、カレー、オニオンコンソメ）を販売します。また、きたみらい牛乳の無料配布（数量限定）も行います。
※地方発送も行っていますので、自家用はもちろん贈答用などでもお求め頂けます。

大人気!!旬の長いもがお買得価格でご提供!!

2013 長いもまつり & 収穫感謝祭

日頃、応援して頂いている皆様へ感謝を込めてお届けします。

今年は会場がマルキタ地方卸売市場に変わります。

市場業務により敷地内への入場は午前7時30分からとなりますのでご了承ください。

日時 11/17日 【午前9時30分～正午】

会場 マルキタ地方卸売市場内 北見市東相内町39番地1

マグロの解体実演を特別開催 特価販売いたします。

JAきたみらいの新もち米・秋野菜・加工品をはじめマルキタの産ジギスカン等の加工品なども大提供!!

ゆづパック 受付コーナー開設

牛乳消費拡大キャンペーン 先着500名様無料配布

訂正とお詫び

先月号（129号）の「おひさまサラダ」で、次のとおり誤りがありましたので訂正のうえ深くお詫び申し上げます。

■訂正場所■

- 15ページ：クイズの当選者『矢田目璃輝さん（相内）』に訂正
- 16ページ：JAからののお知らせ・つばめグリル掲載記事写真説明において『馬鈴薯振興会平川会長（中）と堺副会長（右）』に訂正
- 20ページ：JAきたみらい概要『（9月20日現在）』に訂正



カボチャとニンジンのチヂミ

【エネルギー366kcal(1人分)】

【作り方】

- ①カボチャは3~4cmの角切りにし、塩少々(分量外)を振り、15~20分蒸し、熱いうちにスプーンでつぶす。
- ②ボウルに生地材料を入れ、泡立て器でダマができないように混ぜ合わせる(空気は入れないように)。ラップをして冷蔵庫に入れておく。
- ③ニンジン長さは3cmくらいの千切りにする。
- ④②の生地①を冷まして合わせ、その後③を加えて混ぜ合わせる。
- ⑤温めたフライパンにごま油を敷き、④を直径7~8cmの円形にのばし、上の面にごま油を振り、中火で両面を焼く(約10分)。

【材料:2人前】

- 生地(直径7~8cmのチヂミが8~9枚分)
 小麦粉……………100g
 卵……………150g
 水……………カップ1
 塩……………小さじ1/2
 カボチャ……………150g
 ニンジン……………100g
 いり白ごま……………少々
 ごま油……………大さじ1~2

メモ

甘くてもちもち、女性に大人気のチヂミです。生地には甘く蒸したカボチャ、中にはニンジンがたっぷり入っています。お好みで酢しょうゆをかけてもおいしく召し上がれます。

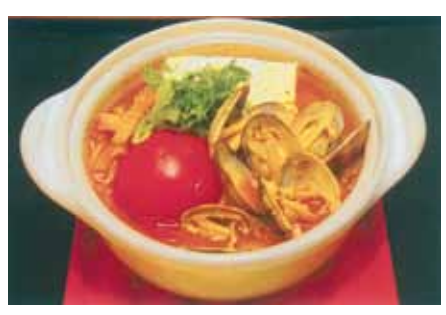


トマト入りキムチスープ

【エネルギー255kcal(1人分)】

【作り方】

- ①ゴボウはさきさき、ダイコンは太千切り、ネギは斜め厚切り、エノキダケは食べやすいように分けておく。ショウガは千切り、豆腐は半分切り、トマトはへたを取っておく。アサリは砂抜きし、よく洗っておく。
- ②鍋にごま油を熱し、ゴボウを入れ、よい香りがするまで炒めてから、ダイコン、ネギ、ショウガを加え、油をなじませるように炒め混ぜ、水と昆布を加える。
- ③沸騰するまでは強火、その後中火にして、ダイコンが軟らかくなれば酒・しょうゆを入れ、キムチ、エノキダケ・もやしを加え4~5分煮る。
- ④塩・みそ・酢で味を調整し、豆腐・トマト・アサリを加え、アサリが開いたら完成。それぞれの器に盛り付け、好みに香菜かミツバを添える。



【材料:2人前】

- | | |
|----------------|----------------|
| キムチ……………約100g | 水……………カップ3 |
| トマト……………2個 | だし昆布……………5×3cm |
| アサリ……………100g | 酒……………大さじ1 |
| ゴボウ……………50g | しょうゆ……………大さじ2 |
| ダイコン……………100g | 塩……………適量 |
| エノキダケ……………100g | みそ……………小さじ1 |
| もやし……………100g | 酢……………小さじ2 |
| ネギ……………1本 | ごま油……………小さじ2 |
| ショウガ……………1片 | 香菜か……………適量 |
| 木綿豆腐……………1丁 | ミツバ……………適量 |

メモ

体が温まり、栄養たっぷりのヘルシースープです。ゴボウは良い香りがするまで炒めると、うま味が引き出され、あくもなくなります。トマトは加熱するとすばらしいこくと爽やかな甘味を出してくれます。辛さはお好みで、キムチの量を調整しましょう。

編集後記

- ・今月の特集で紹介した「ふれあい農業祭」には、たくさんの組合員の皆様や家族連れの方がみえられ、おかげさまで大盛況に終わりました。
- ・今回の農業祭の成功には、数多くの方々の協力があったからこそ。その成功から地域の「絆」を感じることができたのではないのでしょうか。
- ・また、農繁期の忙しいなか、各種イベントへの参加や取材協力をして下さった組合員の皆様に感謝致します。(中野 孝祐)

JAきたみらい概要

(平成25年10月20日現在)

- ・組合員数(正) 1,778人
- ・組合員数(准) 5,507人
- ・組合員戸数(正) 1,181戸
- ・貯金 100,400百万円
- ・貸出金 23,843百万円
- ・出資金 5,041百万円